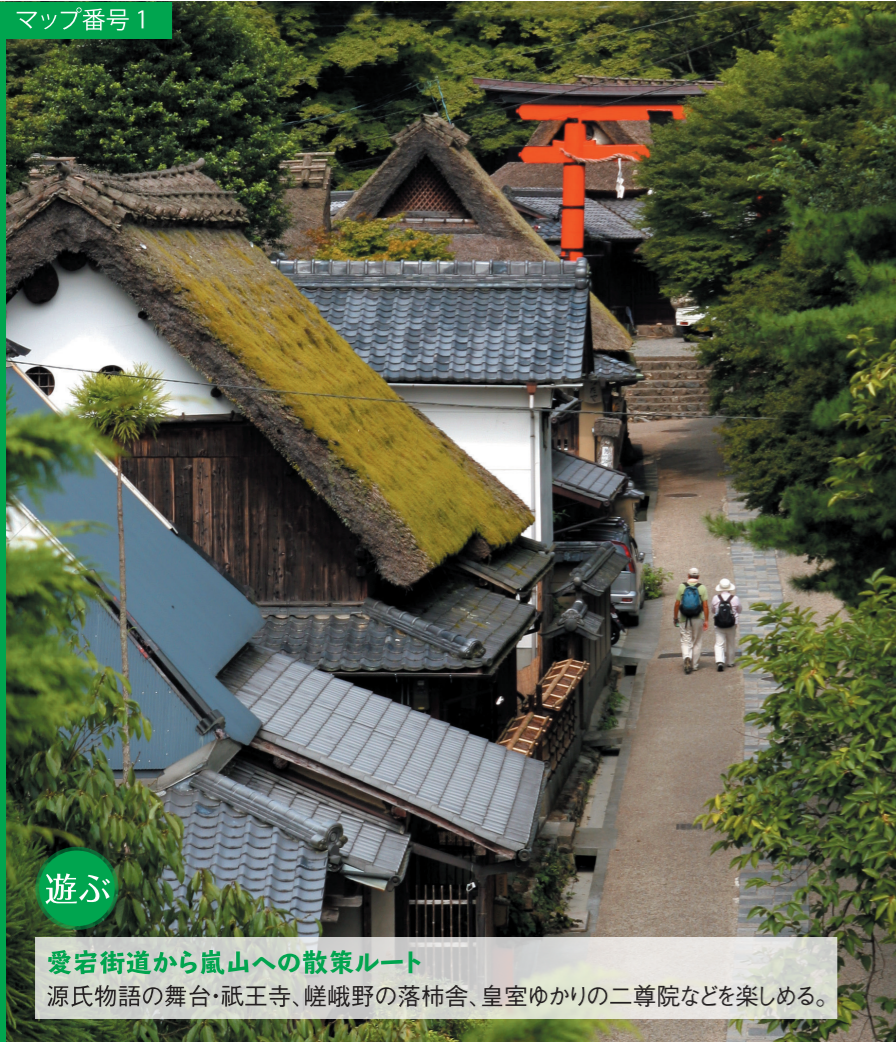


愛宕街道(京都鳥居本)

嵯峨野を背景にした門前町と民家のまちなみ

「火迦要慎(ひのようじん)」と書かれた火伏札で知られる愛宕神社へつづく、かつての参詣道です。17世紀から栄えた門前町と伝統的な民家のまちなみに、嵯峨野の野辺が背景となり、独特の佇まいを見せています。千年の歴史が息づく愛宕街道は地域の景観を愛し守る心を次世代に受け継ぐ道です。

マップ番号 1



遊ぶ

愛宕街道から嵐山への散策ルート

源氏物語の舞台・祇王寺、嵯峨野の落柿舎、皇室ゆかりの二尊院などを楽しめる。

活動・取り組みの紹介

京都らしい景観、佇まい、麗しいまちづくり推進のため電線類地中化を進めています。訪れる人々と地域の人々との交流の場・京都市嵯峨鳥居本町並み保存館では語り部が常駐し、館内や地域の案内をしています。地域資源の調査や新たな観光資源の開発を通して地域の活性化にむけての活動や、清掃やイベントの開催、案内板の設置などを実践しています。

● お問い合わせ先

愛宕古道街道を良くする会協議会事務局
(10時～16時)月曜日休み
京都市右京区嵯峨鳥居本山翁町
TEL:075-864-2406



マップ番号 2

観る 夏



化野念仏寺 (あだしのねんぶつじ)

約1200年前、弘法大師が、無縁仏を供養するためのお寺を建立したのが始まりとされている。毎年8月最終土曜日・日曜日に行われる千灯供養では、西院の河原(さいのかわら)にまつられている8000体の無縁仏にろうそくが灯される。

マップ番号 3

観る

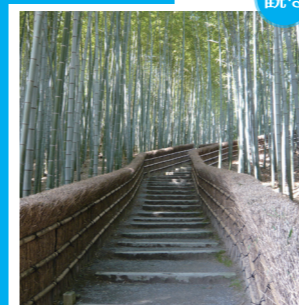


愛宕念仏寺 (おたぎねんぶつじ)

約1250年前、奈良時代の女帝・称徳(しょうとく)天皇により、東山で創建された愛宕寺(おたぎでら)が、大正時代、嵯峨の地に移築。境内に並ぶ、1,200 駄もの、羅漢さん一駄一駄、個性ある豊かな表情で、訪れる人を迎えてくれる。

マップ番号 4

観る



化野念仏寺の竹林

化野念仏寺の境内奥に位置する竹林。少しずつ竹林の中へ入っていくと、わずかな隙間から陽の光が差し込む幻想的な空間。清々しい光景の中散策ができる。

マップ番号 5

観る



祇王寺

竹林と楓に囲まれたつつまやかな草庵で、『平家物語』にも登場し、平清盛の寵愛を受けた白拍子の祇王が清盛の心変わりにより都を追われるように去り、母と妹とともに出家、入寺した悲恋の尼寺として知られている。

マップ番号 6

ふれあう 夏



愛宕古道街道灯し (あたごふるみちかいどうとほし)

化野念仏寺千灯供養と同じ日の毎年8月最終土曜日・日曜日に、地域でつくる800基ほどの大小様々な行灯が一の鳥居から釈迦堂清涼寺まで並ぶ。キャンドルライトから高さ10m程の大きな行灯まで。優しい灯りが照らし出す静かな街並みで、夏の夕涼みを楽しめる。

マップ番号 7

ふれあう



ワークショップ

嵯峨鳥居本町並み保存館では、ポーセラーツやブリザーブドフラワーアレンジメントなど様々なワークショップを開催。地域の方や観光客の飛び入りなど、いつも賑やかでいろんな方々とふれあい、楽しいひと時を過ごせる。

マップ番号 8

学ぶ

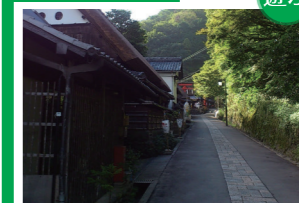


京都市嵯峨鳥居本町並み保存館

奥嵯峨野伝統的な建物で建物や内装そのものが展示物。出格子、ぼったり床几、煙だし、かまど、昭和初期の愛宕街道の町並みを精密に復元した模型なども展示され、古き良き京都の風情を楽しむことができる。なかでも明治時代に作られたガラス窓が割れずに残る。今では考えられない気泡が入ったままのガラスは明治時代に造られた建物の証となっている。

マップ番号 9

遊ぶ



愛宕街道 (あたごかいどう)

古くは、『伊勢へ七度(ななたび)、熊野へ三度(さんど)、愛宕さんへは月参り』と言われたほど愛宕参りがさかんで、嵯峨鳥居本地区は、愛宕神社の門前町として賑わいを見せ宿場町としても栄えた。その町並みの中を通るのが、愛宕神社の参詣道・愛宕街道。街道には、今も風情ある瓦屋根や、茅葺の民家が軒を並べ、『国の重要伝統的建造物群保存地区』に選定されている。

マップ番号 9

食す



平野屋

創業400年の鮎料理の老舗。愛宕神社の表街道、一の鳥居のたもとで、鮎の間屋を営みながら、愛宕詣りの名物“しんこ”を供してきた。米粉で作る名物の団子は、毎日“おくどさん”で蒸しあげ昔と変わらず手作り。春は朝掘りの筍、夏は友釣りの天然鮎、秋は丹波の松茸、冬には近山で捕れた猪でぼたん鍋と四季折々、地元京都の食材にこだわり料理している。

マップ番号 10

食す



つたや

鮎の宿「つたや」は近年内部を改修しているため、古い姿を留めているのは、茅葺の屋根と通りに面した店舗の一部のみとなっているが、揚げ戸式の雨戸や、店に掲げられた「購札」に歴史の重みを感じさせる。嵯峨野には世界的な建築家「イサム・ノグチ」が暮らしていたことがあり、その縁でこの家には彼が設計した座敷が残されている。季節折々の食材を使い、おもてなしの心でお客様をお迎えしてくれる。



道の駅「ガレリアかめおか」

生涯学習施設と物産市場、レストランが一つになった道の駅。亀岡牛や黒豆、丹波栗などの亀岡の名産品や、特製亀岡牛コロッケ、地鶏、黒豆も。

京都府亀岡市余部町宝久保1-1 (TEL:0771-29-2700)



道の駅「ウッディー京北」

店内は樹齢約600年、周囲5.1メートルのやぐら杉が香りを放つ。地場産の新鮮野菜や納豆もちなどの地元オリジナル加工食品や木工品が人気。

京都府京都市右京区京北周山町上寺田1-1 (TEL:075-852-1700)

